

よくあるお問合せ

【申請団体の資格】

- ① Q：団体の所在地が東京都外だが、東京都をメインとして活動している。申請は可能か。
A：申請できかねます。団体所在地が東京都であることが必要です。
- ② Q：個人での申請は可能か。
A：申請できかねます。申請は、構成員が2名以上の団体に限ります。
- ③ Q：法人格を持っているが代表1名しかいない。事業に携わる人を構成員として入れて良いか。
A：申請は、構成員が2名以上の団体に限ります。事業に携わる方が申請団体に属していない場合は構成員にはなりません。
- ④ Q：3年以上個人で活動しており、最近任意団体として活動している。申請可能か。
A：任意団体として3年以上の活動実績があれば可能です。
- ⑤ Q：任意団体は申請可能か。
A：申請可能です。
- ⑥ Q：法人格を持っている団体は申請可能か。
A：申請可能です。
- ⑦ Q：任意団体から法人化した団体は申請可能か。
A：申請可能です。沿革にその旨記載ください。
- ⑧ Q：3年以上任意団体で活動おり、最近法人化しましたが、まだ法人としての活動が1年未満です。その場合でも申請は可能か。
A：申請可能です。沿革にその旨記載ください。
また直近の活動実績は任意団体のものを含めご記載ください。
- ⑨ Q：任意団体のため定款がありません。どうすれば良いですか。
A：定款に準ずる規約、会則等を提出してください。
- ⑩ Q：コロナ禍は活動を自粛していたが、10年以上継続的に活動している。活動実績はどう記載すればいいか。
A：団体概要の沿革等に記載してください。
- ⑪ Q：団体設立3年以上の定義は何か。
A：2022年4月以前から継続的な活動実績がある団体です。任意団体でもかまいません。

【申請できる件数等】

- ⑫ Q：第1期で採択されました。第2期でも申請可能か。
A：現在、アーツカウンシル東京が実施するいずれかの助成プログラムで助成を受けている団体であっても、助成対象事業と異なる事業であれば申請可能です。ただし、第2期の助成対象期間内に実施する事業に対して助成を受けている場合は、優先度が低くなる場合があります。
- ⑬ Q：第1期で不採択でした。第2期は申請可能か。
A：申請可能です。
- ⑭ Q：同一団体の複数申請は可能か。
A：可能です。ただし、同一申請団体で複数の企画が採択されることはありません。
- ⑮ Q：アーツカウンシル東京の他の助成に応募しているが、同じ事業で申請できるか。
A：同一申請者が、同一の事業を、アーツカウンシル東京が実施する他の助成プログラムと並行して申請することは可能です。ただし、重複して採択されることはありません。異なる事業であれば、重複して採択される可能性があります。

【申請内容について】

⑩ Q：実施日も会場も決まっていないが申請は可能か。

A：申請可能です。審査ポイントとして「今回の企画の実現性が担保されているか」とありますことご留意ください。

⑪ Q：申請書の記載方法がわからない。

A：記入例をご覧ください。

⑫ Q：1つのライブを複数の会場で実施したい。その場合でも申請は可能か。

A：助成対象期間内であれば申請可能です。ただし、助成金の支払いは全ての事業が終了し、事業報告書の提出後となります。

⑬ Q：事業期間はどのように記載すれば良いか。

A：事業開始日（公演初日）から、事業終了日（公演最終日）にてご記載ください。

⑭ Q：事業期間外（公演前）の経費は認められるのか。

A：助成対象期間内に支払われる必要があります。

⑮ Q：申請活動に関する資料は具体的に何を提出すれば良いか。

A：提出は任意です。申請書に記載できなかった申請事業についての概要や、団体としての補足事項などあればご提出ください。

⑯ Q：提出した申請書一式等の申請ファイルの記載が誤っていたので再提出したい。

A：再提出は受け付けておりません。採択後に変更申請を行うことで変更が可能です。
またコンセプトの変更や大幅な予算の変更には再審査になりえますこと、留意ください。

⑰ Q：ディナーショーなど、飲食が伴う事業でも申請は可能か。

A：申請可能です。しかし飲食に係る経費は経費計上不可になります。そのためチケット代等に飲食分が含まれている場合は、飲食代を差し引いた額をご記載ください。

⑱ Q：コロナ禍で中止になった公演について、活動実績に記載することは可能か。

A：可能です。活動実績、財務状況に記載してください。

⑲ Q：チケット収入等が増加して黒字になった場合、助成額は減額するのか。

A：実績報告等の詳細につきましては、交付決定団体に対して配布する手引きにて説明します。